



株式会社シャルレ 〒654-0192 兵庫県神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
TEL 078-792-7000(代表) <http://www.charle.co.jp/>

株主のみなさまへ
第41期 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



株式会社シャルレ
証券コード 9885

株主のみなさまへ

この度の平成28年熊本地震により被災されました
皆さんに謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日
も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

平素は当社へのご高配を賜り、心よりお礼申し上げます。
ここに当社第41期(平成27年4月1日～平成28年3月
31日)の報告書をお届けさせていただきます。

当期におきましては、30代から40代をターゲットに
した新商品が堅調に推移したことや、健康食品や化
粧品の分野において新商品を発売したことによる売
上伸長、シャルレダイレクトサービスにおいて健康食
品の定期購入制度を導入し、メイト(消費者会員)
利用者数の拡大につながったこと、及び次世代を担う
ビジネスメンバーの育成や教育、支援等による組織の
再活性化に取り組んだことなどによって、売上高は
前年を僅かではありますが上回ることができました。

しかしながら、国内経済は先行き不透明な状況が
続いており、また、当社を取り巻く環境面においても、
生産拠点における人件費の上昇や原材料価格の高騰
など、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、更なる企業価値の向上と業績
回復を目指し、中長期的な取り組みを実行していく
ことにより、株主のみなさまのご期待にお応えできる
よう努力してまいります。

株主のみなさまには、さらなる
ご支援とご理解を賜りますよう、
お願い申し上げます。

平成28年6月
株式会社シャルレ 代表取締役社長

奥平 和良



『わたしたちの誓い』

女性を元気にする日本一のグループへ

わたしたちは
シャルレらしい「もの」
わくわく、笑顔になれる「こと」
生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」に
こだわり続けます。

そして、女性と共に生き
地域や社会の発展に貢献していきます。

基本理念

人はみな豊かでなければならない
我々に関係ある人はみな
どうしても豊かでなければならない

レディースインナー等 販売事業について

当事業年度におけるわが国経済は、政府の経済
政策等を背景に、雇用情勢や企業収益の改善傾向
が続き、緩やかな回復基調で推移しましたが、中国
をはじめとした新興国経済の減速懸念、為替や株価
の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

また、国内レディースインナーウエア市場におきま
しては、アジア圏における人件費の上昇や原材料価
格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は、「女性を元気にす
る日本一のグループ」に向けて、美と健康の事業領
域を中心に、他社との差別化が図れる独自性のある
シャルレらしい「もの」や、喜びや感動を与える「こ
と」の提供を追求してまいりました。また、生涯を通
じていきいきと輝いている「ひと」をサポートするた
め、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化
することによって、豊かな社会の実現を目指してま
いりました。その為に、シャルレらしい高機能、高付
加価値商品の開発、及び次世代を担うビジネスメン
バーの育成や教育、支援等による組織の再活性化

に積極的に取り組んでまいりました。また、多様化
する消費者ニーズへの対応として、訪問販売におき
ましては、30代から40代をターゲットにした新ブ
ランド「シャルレセルフィア」を本格展開し、新しい愛
用者の獲得に努めました。インターネット等による
通信販売のシャルレダイレクトサービスでは、健康
食品の「定期お届け便制度」を導入することで、メイ
ト(消費者会員)利用者数の拡大に繋げました。ま
た、前年度にオープンした直営店「シャルレ・ザ・スト
ア」では、過去に購入経験のある顧客からの再購入
や新規顧客の来店等の一定の成果が見られるなど、
顧客との接点強化に取り組んでまいりました。

衣料品類について

商品面に関しましては、衣料品類では、新ブラン
ド「シャルレセルフィア」を本格展開し、バストの搖
れをおさえて大胸筋を鍛える「美意識ブラジャー」、
ウエストやヒップラインを美しく見せる補整機能と
ソフトな着用感を両立させた「くびれマジックイン
ナー」と「美小尻ショーツ」を発売しました。さらに、
産前から産後まで大きく変化していく女性の体型
サポートや身体への負担軽減を考慮した「シャルレ

通期業績報告

マタニティシリーズ」を定番商品として発売しました。また、既存定番商品の「ファーチェシリーズ」及び「シャルレラグジャシリーズ」を愛用者の声を反映させながら、トレンドに合わせてリニューアル発売しました。衣料品類全体としては、新定番商品の売上高は好調に推移ましたが、既存定番商品の落ち込みにより、前年を下回る結果となりました。

化粧品類について

化粧品類におきましては、高機能エイジングケアラインである「エタリテ オーラマージュ」に独自の新成分である「クワンソウエキス」と「CAコラーゲン」を新たに配合し、リニューアルをいたしました。また、新ブランド「シャルセルフィア」より、美容成分として用いられて



CHARLE Maternity
シャルレマタニティ



CHARLE SELFIA
シャルセルフィア

シャルレマタニティ ブラジャー

クリアホワイトスキンケアシリーズ

いる「ハイドロキノン」の効果を応用して開発した新たな美容成分「ハイドロキノンEX」を配合し、肌にうるおいと透明感を導くスキンケアシリーズ「クリアホワイト」を発売しました。化粧品類全体としては、既存定番商品による売上高は減少しましたが、新定番商品の売上高により、前年を若干上回りました。

健康食品類について

健康食品類におきましては、2種類の乳酸菌を配合した「ラクティフローラW乳酸菌」を用いて健康を身体の内側からサポートする「ラクティプラス」を新発売し、「ns（エヌエス）」ブランドとしての商品展開を図りました。また、新たな愛用者の獲得を目的としたお得なセット商品を発売しました。健康食品類全体としては、「ラクティプラス」の売上高が好調であったことなどにより、前年度の売上高を大きく上回る結果となりました。なお、「ns（エヌエス）」ブランドの4商品は、2015年モンド・セレクションのダイエット・健康製品部門において金賞を受賞しました。

営業施策面について

営業施策面におきましては、ビジネスメンバー組織の

活性化を目的に、インセンティブ施策を実施するとともに、組織拡大に繋がる教育研修や現場支援に積極的に取り組みました。4月には、全代理店を対象とした「第32回シャルレ代理店セミナー」を開催し、経営方針や各種施策の共有を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、ビジネス活動の意欲の向上に繋げました。9月から11月にはビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2015」を実施し、コンテスト入賞者を対象として、3月に「シャルレ特別ツアー2016」をハワイにて開催しました。さらに3月には、売上高の「前年アップ」を目標に掲げた特別インセンティブ施策を全代理店対象に実施した結果、当事業年度の売上高は前年度の売上高を上回ることができました。

業績について

以上の結果、当事業年度における当社の売上高は、188億36百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は12億7百万円（前年同期比20.7%増）、経常利益は12億59百万円（前年同期比17.6%増）、当期純利益は10億4百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

なお、平成27年6月29日より執行役員制度を導入し、監視・監督機能と業務執行機能を分離し、経営の意思

決定及び業務執行の迅速化を実現する経営体制を整えています。

次期の見通しについて

次期の経営環境といたしましては、政府による各種政策の効果により、雇用や企業収益の改善傾向が続くと見られ、景気の緩やかな回復が期待されますが、中国をはじめとした新興国経済の影響がリスクとして懸念されています。また、国内レディースインナーウエア市場においては、需要の縮小や消費行動の変化による販売チャネルの多様化など、競争が激化しております。

このような環境のもと、2020年（平成32年3月期）に向けて、中期経営計画に基づく中期経営方針（詳細は5ページ「中期経営計画」をご覧ください。）を実行することにより、次期の業績見通しを達成してまいります。

次期（平成29年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高は18,900百万円（前年同期比0.3%増）を予定しておりますが、仕入価格の上昇や販売促進費、退職給付費用等のコストの増加等を見込み、営業利益は700百万円（前年同期比42.0%減）、経常利益700百万円（前年同期比44.4%減）、当期純利益300百万円（前年同期比70.1%減）を見込んでおります。

中期経営計画

当社は、2020年3月期(平成32年3月期)に売上高19,400百万円、売上高営業利益率5%以上を経営目標として、その達成に向けて中期経営計画(平成28年4月～平成32年3月)を策定しました。

レディースインナー等販売事業の抜本的な改革により、中長期的に利益体质の構造を確立し、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

中期経営方針

①販売組織の活性化

ビジネスメンバーの活動意欲の向上・継続性を高めるための営業施策や支援体制の強化を図り、ビジネスメンバーの収益向上や新規育成数の増加を図ってまいります。

②ビジネスメンバーと顧客との接点強化

インターネット等で通信販売を行っているシャルレダイレクトサービス及び当社の直営店である「シャルレ・ザ・ストア」のインフラを効果的に活用し、訪問販売と連携することで、メイト(消費者会員)との関係を深め、強固なものとして定着化を図るとともに、新規顧客の獲得・拡大も行ってまいります。

③商品開発の強化

高機能・高付加価値商品を開発することにより、女性の美と健康をサポートするものづくりを推進してまいります。特に、化粧品や健康食品など、リピート性の高い商材を拡充することによって、定期的な購入に繋げ、売上と利益の拡大を図ってまいります。

④収益性の改善

中長期的に増加が見込まれるコストを構造的に抑制し、収益性の改善を図ってまいります。

⑤新規事業の開拓・展開

新規事業の開拓・展開等により、業績の向上を図ってまいります。

中期経営目標(2020年3月期)

売上高 **19,400** 百万円

営業利益率 **5%** 以上

2016年
3月期実績
18,836
売上高

2017年
3月期
18,900
売上高

(単位:百万円)
2020年
3月期
19,400
売上高

健康食品・化粧品の

「定期お届け便」について

「定期お届け便」は、毎回ご注文をいただかなくても、定期的に自動で商品がお手元に届くサービスです。お客様にはご注文の手間が省けて、とっても便利なサービスです。

この「定期お届け便」の導入により、メイト(消費者会員)利用者数の拡大に繋がりました。

※「定期お届け便」は、シャルレの通信販売「シャルレダイレクトサービス」でのご注文にて、ご利用いただけます。(対象商品:健康食品・化粧品)

毎月、定期的に
お届けできます!



«定期お届け便対象商品»

健康食品

ns
エヌエス



エンジン ウォーマー

リンクアップ
コラーゲン



グルコビウォーク



ラクティプラス



ナカルテビサイト

化粧品

eterrite
エタリテ



エタリテブランドのスキンケア商品9品

「シャルレマタニティ」発売

赤ちゃんとママのために…
心に、身体に思いやり。

CHARLE

Maternity
シャルレ マタニティ

シャルレマタニティは、お腹の赤ちゃんと母体を守ることを第一に考えた商品作りを続けている
株式会社大印本舗の監修のもとで設計されました。
大きく変化する身体への負担を軽減し、産前から産後までを快適に美しくサポートしていきます。



シャルレマタニティ ブラジャー

**バストの変化に対応し、
授乳期まで長く使える。**

- ①サイズ変化に対応
- ②乳腺の発達を妨げにくい設計
- ③きれいなシルエット
- ④肌あたりにも配慮
- ⑤2WAY授乳機能で状況に応じた授乳が可能



シャルレマタニティ ブラインナー

**お腹を優しく包み込み、
授乳もラクラク。**

- ①サイズ変化に対応
- ②乳腺の発達を妨げにくい設計
- ③きれいなシルエット
- ④肌あたりにも配慮
- ⑤胸元カバー付の授乳機能
(便利なクロスオーブンタイプ)



シャルレマタニティ ショーツ

**肌あたりソフトで、
お腹をすっぽり
包み込む。**

- ①サイズ変化に対応
- ②肌あたりにも配慮
- ③しっかりとヒップを包み込む
安心設計
- ④マチ部分は白の綿素材を
使用した2重構造

スキンケアシリーズ「クリアホワイト」発売

CHARLE SELFIA シャルセルフィアからスキンケアシリーズ誕生！

いま、未来、進化する輝き。

いまを大切にしながら、なりたい自分へと歩み出す女性たちを応援するシャルセルフィア。
その毎日寄せ添う新しいスキンケアが生まれました。テーマは、肌がうるおうことで生まれる明るい透明感。
独自開発の新成分「ハイドロキノンEX ※」が、女性たちのあこがれ肌へと導きます。
心地よくうるおいながら、その先までも明るい表情、明るい私へ。積み重ね、近づくよろこびが心や表情までも輝かせます。

※p-フェニレンジ(イソステアリルリン酸 Na):保湿成分



LOTION

クリアホワイトローション <化粧水>

澄みわたる、うるおい。

肌に吸い込まれるようにすっとなじみ、角質層にゆきわたるみずみずしさ。うるおうことで生まれる透明感が、表情までも明るく輝かせます。さらりと心地よい使用感で、1年中快適に使えます。



MILK

クリアホワイトミルク <美容乳液>

**さらり整う、
なめらか肌。**

やわらかな感触で、肌をすべるようになじみ、しっとりなじむ心地よさ。肌をなめらかに整えて、うるおった肌の透明感を引き立たせます。さらっとした使用感で、夏も快適に使えます。



CREAM

クリアホワイトクリーム <クリーム>

輝きを、包み込む。

コクがあるのにべたつかず肌にピタッと密着。しっかりうるおいをとじ込めて、華やぎのある透明感で包みます。乾燥が気になる季節や夜のお手入れにもおすすめ。ふくらとうるおって、さらなる輝く肌へと導きます。

CHARLE

シャルレを代表する、ブランド。着用感と機能性を兼ね備えた、本物志向を追求しています。
多くの女性に、長きに亘って愛されているシリーズが多数存在し、これからも愛され続けることを目指しています。



CHARLE SELFIA
シャルセルフィア

特許取得済
(特許第5465800号、
特許第5545903号)



C series
シリーズ



ANCY et Rêve
アンシエレーヴ



charle Luxuar
シャルラグジュア



Devanna
デヴァナ



Fache
ファーチェ



肌日和
はだひより



PALETTY
パレッティ



Charle
ハナコレクション

Charle Wellness

シャルウェルネス

「健康」をテーマにしたブランド。①専門的理論②高い機能性③オリジナル性を持ち、特許技術によつて設計した商品を中心として、肩・腰・膝をサポートします。



サポート®



ひざサポート®



セイナー®

特許取得済
(特許第4660630号)

特許取得済
(特許第4607233号)

Brand Lineup 主なブランドラインナップ

『美と健康』を目指すシャルレの多彩な商品 ラインナップ

シャルレは、『美と健康』に関する幅広い商品とサービスの提供を目指し、健康関連分野や、化粧品関連分野の商品のラインナップを拡充してまいります。永らくのご愛用者の多いファンデーション、インナーウエア等、シャルレならではのこだわりの商品も、これまで通り充実したラインナップで提供し続けてまいります。



エタリテ オーラマージュ

eterrite AURAMAGE



エタリテ

eterrite



エタリテ フレディアス

eterrite fredias



2014年・2015年・
2016年
モンド・セレクション
3年連続金賞受賞



2015年・
2016年
モンド・セレクション
2年連続金賞受賞



CHARAISE
シャルエーゼ



CHARLE REMUS
シャルレ リーマス



C4U
Charle's Comfort Club for Children

eterrite

エイジングケア*を目指したスキンケアブランド。美しく時を重ねる大人の女性たちに、上質肌の悦びと満足感を。
*年齢に応じた肌ケアのことです。

ns

「女性の健康サポート」
科学(サイエンス)が

がコンセプト。自然(ナチュラル)と
融合した健康食品ブランド。

（ その素肌と髪に、
すこやかな美しさを。

（ 幅広い年代層に対応した
男性ブランド。

（ 心地よい肌触りと清潔さ
を考えたキッズブランド。

財務諸表の概要

(注)各財務諸表は主要な項目を表示しております。

貸借対照表

科目	当期 平成 28 年 3 月 31 日	前期 平成 27 年 3 月 31 日
流動資産	18,591	17,172
現金及び預金	9,250	9,139
売掛金	71	105
有価証券	4,498	3,659
商品	4,160	3,594
貯蔵品	53	38
繰延税金資産	360	455
その他	213	229
貸倒引当金	△17	△49
固定資産	5,630	6,600
有形固定資産	2,396	2,427
建物(純額)	1,209	1,238
土地	907	907
その他(純額)	279	281
無形固定資産	875	943
ソフトウエア	858	923
その他	17	19
投資その他の資産	2,359	3,229
投資有価証券	1,051	1,587
前払年金費用	728	626
繰延税金資産	166	371
その他	419	649
貸倒引当金	△5	△5
資産合計	24,222	23,772

科目	当期 平成 28 年 3 月 31 日	前期 平成 27 年 3 月 31 日
負債の部		
流動負債	2,389	2,487
買掛金	811	834
未払金	857	950
未払法人税等	64	19
賞与引当金	292	282
その他	364	399
固定負債	659	771
売上割戻引当金	205	213
退職給付引当金	347	383
その他	105	174
負債合計	3,048	3,258
純資産の部		
株主資本	21,188	20,528
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,985	13,326
自己株式	△1,295	△1,295
評価・換算差額等	△14	△14
その他有価証券評価差額金	△14	△14
純資産合計	21,173	20,514
負債純資産合計	24,222	23,772

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

科目	当期 平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 28 年 3 月 31 日	前期 平成 26 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 3 月 31 日
売上高	18,836	18,613
売上原価	9,467	9,710
売上総利益	9,369	8,902
販売費及び一般管理費	8,162	7,903
営業利益	1,207	999
営業外収益	59	75
営業外費用	7	4
経常利益	1,259	1,070
特別利益	131	6
特別損失	4	14
税引前当期純利益	1,386	1,062
法人税、住民税及び事業税	81	92
法人税等調整額	300	△36
当期純利益	1,004	1,005

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書

科目	当期 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
a 営業活動によるキャッシュ・フロー	898
b 投資活動によるキャッシュ・フロー	6,074
c 財務活動によるキャッシュ・フロー	△422
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	6,550
現金及び現金同等物の期首残高	4,299
現金及び現金同等物の期末残高	10,849
当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ65億50百万円増加し、108億49百万円となりました。	
営業活動によるキャッシュ・フローは、8億98百万円の収入となりました。主な要因は、税引前当期純利益13億86百万円、たな卸資産の増加5億80百万円、減価償却費及びその他の償却費4億19百万円であります。	
投資活動によるキャッシュ・フローは、60億74百万円の収入となりました。主な要因は、定期預金の減少56億円、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入5億39百万円であります。	
財務活動によるキャッシュ・フローは、4億22百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額3億45百万円であります。	
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

